

美術科学習指導案（2年1組）

1 題材 おもてなし cubes

2 題材設定の理由

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け（身に付けることができるよう指導する事項）

【知識及び技能】

共(1)ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

A(2)ア(7)材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。

【思考力、判断力、表現力等】

A(1)イ(ウ)使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

B(1)イ(7)身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

②題材の価値

本題材「おもてなし cubes」は、2020年東京オリンピック選手村の空間デザインを依頼されたという設定で、選手としての立場や各国の文化等を踏まえて、「おもてなし」等の視点から新たな発想・構想を練り、立体作品に表現するものである。設定した主題をよりよく表現するために素材を試す活動を取り入れ、自らの思いや願いを込めて制作に取り組めるようにしていく。このような活動を通して、中心となる考えをもちながら、主題を含め、素材・自己・他者との様々な対話活動から、新たな発想を表現しアイデアを創造する力を高めることができる。

③題材の系統性

- ・第1学年に実施した題材「色相パズル」の場面において、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解しながら創造的に作品に表現してきた。
- ・第3学年に実施する題材「木彫時計」の場面において、思いや願いを込めた表現方法を工夫し、色や形を意識しながら創造的に木彫時計を表現することにつながる。

(2) 生徒観（男子17名、女子17名 計34名）

- ・知識及び技能については、制作方法が分からず、表現方法の工夫に悩んだまま制作が滞ってしまう生徒が数名いる。これは、新たな発想・構想を膨らませたり、表現することの楽しさを味わったりする活動が十分ではないことが原因であると考えられる。
- ・思考力、判断力、表現力等については、主題を題名と勘違いしていたり、考えることに苦手意識をもったまま制作していたりする生徒が多い。これは、主題の必要性や設定方法が曖昧であることが原因であると考えられる。

(3) 指導観

- ・素材と自己、自己と他者、作品と自己、世界と自己などの対話活動の時間を設けることで、豊かな発想・構想を膨らませたり、制作を見直したりできるようにする。
- ・制作の中心となる考えをもたせることで、「こうもてなしたい」と考える選手村を思い浮かばせながら思いや願いを込めた主題設定をできるようにする。
- ・iPadで制作の過程をポートフォリオとして保存することで、制作開始時に前時の取組を振り返るとともに、次時の制作や鑑賞会に生かせるようにする。

3 題材の目標

日本と世界についての見方や感じ方を深めるとともに、表現方法を工夫することで自らの思いや願いを込め、形や色彩などを意識しながら創造的に選手村を表現することができる。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

5 本時の展開 (7/11)

(1) 目標 使用する選手の視点を意識して表現を工夫する活動を通して、おもてなしの心がつまった選手村の空間デザインについての発想・構想を広げることができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時は部屋の大まかな形を制作したが、まだまだ物足りないな。 今日は展示を意識してもう一工夫するのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○選手の目線で工夫を考えることで、対話活動から気付いたことを本時の制作に生かすことができるようにする。 ○iPadに保存されたデータを確認することで、前時までの制作を振り返られるようにする。
<p>課題：選手村を使用する選手の視点で考えると、どのように表現を工夫できるだろうか</p>	
<p>2 実際に展示した作品の様子から、よりよい表現を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○決められた場所にそれぞれの作品を展示し、実際の選手の視点からも気付いたことを発表し、今抱える問題点を考える。 みんな好きな場所に置いているけれど、各国の様子やおもてなしの視点で、全体で話し合う必要があるかも知れないな。 実際に選手の大きさになって部屋を覗いてみたら使いにくそうだったけれど、原因はどこだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人で制作してきたものが集団になったとき、今まで意識しなかった「選手村」の見方があることを知ることで、協働する必要性に気付けるようにする。 ○全体を見られる時間を確保することで、協働でよりよい展示ができるような意識をもたせられるようにする。 ○webカメラを使用し、選手の視点に立って部屋の中を見られるようにすることで、問題点に気付けるようにする。 ○「おもてなし」「世界と日本」「色」「場所」等の視点から表現可能な工夫を考えることで、よりよく「選手村」が見えるようにする。 ○「おもてなし」「世界と日本」「色」「場所」等の視点から感じられたことをメモしておくことで、iPadを使ったデータ作成に生かせるようにする。
<p>3 中間発表会を行い、表現の工夫の仕方の考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○iPadを使ったデータに描き込んだ気付きを発表し合い、表現の工夫に生かす。 実際の選手の大きさをきちんと意識して制作できていなかったの、家具などの大きさを工夫していきたいな。 国旗を大きく描き過ぎて、全然選手がリラックスできそうもなかったの、国旗の大きさや場所を工夫したいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○iPadを使って作品データを作成することで、中間発表会で今の気付きを発表できるようにする。 ○数名のiPadに保存されたデータをモニターで紹介し、発表することで、お互いのよさを感じられるようにする。 ○見栄えに悩んでいる生徒に対しては、実際の具体物(木や石など)を用意しておくことで、着色だけでなく貼って、よりよく見せている作品の工夫を紹介できるようにする。 ○主題を振り返り中心となる考えを基にして、残り3時間で工夫できることを紹介し、見通しをもたせて取り組ませることで、制作が広がり過ぎないようにする。
<p>【思考・判断・表現】 選手村を使用する選手の視点から考え、新たな表現を工夫することができる。(iPadに保存されたデータ)</p>	
<p>4 本時の学習を振り返るとともに、今後の学習への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○iPadに中間発表会で気付いたことや感じたことを改めて書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時は、本時で考えたおもてなしの表現の工夫を、iPadを使ったデータに描き込んだものを基にして、制作に生かしていくことを伝えることで、意欲を向上できるようにする。
<p><振り返り> 自分勝手に押し付けるものではなくおもてなしの心がつまった選手村にするには、使用する選手の視点に立って「色」や「場所」など新たな表現を工夫していくことが大切なのだ。</p>	

<「思考力、判断力、表現力等」育成のための具体的な手だて>

- (1) iPadを用いたポートフォリオの活用
- (2) 素材・自己・他者との様々な対話活動を取り入れた発想・構想の工夫

指導と評価の計画 美術科 2年 題材「おもてなしcubes」(全11時間計画)

目標	日本と世界についての見方や感じ方を深めるとともに、表現方法を工夫することで自らの思いや願いを込め、形や色彩などを意識しながら創造的に選手村を表現することができる。				
評価規準	<p>【知識・技能】 思い描いたオリンピック選手村を、既習した形や色彩などを意識しながら創造的に表現することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 主題に自らの思いや願いを込め、作品がよりよく見える表現方法を考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 わたしが住む日本と世界に関心を持ち、意欲的に制作に取り組んだり、作品に込められた作者の思いや願いを読み取り、互いの作品のよさに気づき、作品を味わったりしようとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価 (方法・観点)
つかむ	1	◎おもてなしの心で選手村を考え、主題を設定することができる。 おもてなしの視点をどのように主題に表せばよいらうか。	○調べ学習から題材に合った主題設定を行い、中心となる考えをもつ。	☆日本のよさが世界の選手たちに伝わってほしい。 ☆各国の特長もさりげなく選手村のデザインに取り入れたいな。	【思考・判断・表現】 おもてなしの視点から、選手村制作のための主題を設定することができる。 (iPadに保存されたデータ)
	1	◎素材の可能性を模索することができる。 目的に合った素材や表現方法は、どのようなものがあるだろうか。	○試しの活動に取り組み、素材と自己・自己と他者の対話活動から素材の特性を体感する。	☆始めに考えていた素材だとなかなか制作していくのが難しいことが分かった。接着の方法も考えられてよかった。 ☆切ったり貼り付けたりしていくうちに、もっと面白い表現ができそうだと感じられた。	【主体的に学習に取り組む態度】 試しの活動を通して、素材の特性を身体で感じ取ることができる。 (観察)
追究する	1	◎iPadの活用を通して、何度も描き直したり配色を変えられたりすることを体感しながら、アイデアスケッチに表現することができる。 おもてなしの心をアイデアスケッチではどのように表現したらよいらうか。	○iPadを使用してアイデアスケッチを描く。	☆iPadでのアイデアスケッチは、何度も形を描き直したり配色を変えられたりすることができ、iPadに保存されたデータは次時の制作の表現方法に生かそう。 ☆おもてなしの心は様々で、自分らしさを表現していくことが大切なのだ。	【思考・判断・表現】 思い描いた選手村の一室を、形や色彩などを意識しながらアイデアスケッチに描くことができる。 (iPadに保存されたデータ)

<p>追 究 す る</p>	<p>7 (本時はその4)</p>	<p>◎追究した素材から選手村を創造し、展示したときの選手からの見え方を意識するとともに、新しい表現を工夫しながら制作に生かすことができる。</p> <div data-bbox="280 450 531 680" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>選手村を使用する選手の視点で考えると、どのように表現を工夫できるだろうか。</p> </div>	<p>○前時の活動を生かして制作を進める。 ○中間発表会を通して自己と他者との対話活動を行い、新たな表現を工夫する。 ○制作途中の作品を写真として残し、ポートフォリオとして記録する。</p>	<p>☆iPadに記録しておく前時につくっていた途中が分かるし、やらなければならない次時の課題もはっきりしてよかった。 ☆ワークシートが増えていくにつれて、制作の見通しがもててよかったから、次の授業が楽しみだな。 ☆iPadに保存されたデータが増えていくにつれて、作品の成長過程も目に見えて嬉しく思った。 ☆振り返りを書くと今日頑張ったことが残るし、上手いかなかったところを次の時間に集中して取り組めるようになるので、よかったな。 ☆おもてなしの心は自分勝手に押し付けるものではなく、使用する選手の視点に立って「色」や「場所」など新たな表現を工夫していくことが大切なのだ。 ☆自分の作品に愛着をもつようになり、完成した時の達成感や満足感を味わうことができてよかったな。</p>	<p>【知識・技能】 思い描いた選手村を、形や色彩などを意識しながら創造的に表現することができる。(作品) 【知識・技能】 制作途中の作品を記録し、次時からの制作に生かすことができる。(iPadに保存されたデータ) 【知識・技能】 おもてなしを意識した選手村に愛着をもち、美しく完成させることができる。(作品) 【思考・判断・表現】 選手村を使用する選手の見え方を考え、新たな表現を工夫することができる。(iPadに保存されたデータ)</p>
<p>ま と め る</p>	<p>1</p>	<p>◎作品に込められた主題やよさを読み取る。</p> <div data-bbox="280 1279 531 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達の作品にはどのような思いや願いが込められているだろうか。</p> </div>	<p>○友達の作品を鑑賞し作品と自己、世界と自己との対話活動を行う。</p>	<p>☆友達の作品に込められた主題を見つけるのは楽しかったし、自分の作品に込めた思いや願いを見取ってもらえるのも嬉しかったな。 ☆これからも鑑賞するときに役立ちそうだな。</p>	<p>【思考・判断・表現】 作品に込められた思いや願いを読み取り、感じたことをワークシートへ書き込むことができる。また、対話活動からお互いのよさを味わうことができる。(鑑賞カード)</p>